

## 絵本から物語へ

3・4年生になると、想像力、読書力が徐々についてきて、少し長めのお話でも自分で読んで楽しむことができるようになります。このリストに掲載した児童書は、絵本からの橋渡しとなる魅力のある読み物です。ワクワクしながら最後まで読みとおした達成感が、次の本に向かう力となるでしょう。

### ◎ おはなし会のご案内 ◎



第1日曜日と第3土曜日の午前11時00分から、午後2時30分から、おはなし会を開催しています。午前は幼児向け、午後は小学生向けです。絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行っています。一緒に楽しい時を過ごしましょう。

愛知県図書館 児童図書室 TEL 052-212-2323

◆開館時間 … 火曜～日曜 午前10時～午後6時

◆休館日 … 月曜・毎月第2木曜日

※その日が祝日(振替休日)に当たるときは開館、次の平日に休館  
年末年始・特別整理期間

## 小学校3・4年生向け おすすめ図書

〈読みつがれてきた図書から〉



愛知県図書館 児童図書室  
令和5年1月

★( )内の数字は、初版年月です。



### 海へのあさ

ロバート・マックロスキー文・絵

石井桃子訳

岩波書店 1979

外国のえほんーウ

(書庫にもあり)

ある朝、サリーが歯をみがいていると、歯が1本ぬけそうになっていました。びっくりしておかあさんに言うと、サリーが大きくなったってことだ。うれしかったサリーは、海辺のいきものたちに自慢げに話します。

### 島ひきおに

梶山俊夫絵 山下明生文  
偕成社 1979

日本のえほんーし

(書庫にもあり)



昔、小さな島に、おにがひとりですんでいました。さびしくて、通りかかったものに、「あそんでいけ」とよびかけますが、誰もよりつきません。ある日、島をひっぱってきたらいっしょにくらせると漁師に言われて…。

### じごくのそうべえ

桂米朝・上方落語・地獄八景より

田島征彦作

童心社 1978.5

日本のえほんーし

(書庫にもあり)



かるわざしのそうべえは、つな渡りに失敗してあの世へ。歯ぬきし、医者、山伏といっしょに地獄へおとされ、鬼にのみこまれたり、熱湯に入れられたりしますが、4人のもつ得意わざで、切りぬけていきます。



### スーホの白い馬

モンゴル民話

大塚勇三再話 赤羽末吉画  
福音館書店 1967.10

外国のえほんース

(書庫にもあり)

まずしい羊飼いの少年スーホは、拾った白馬をりっぱに育てました。町のけいば大会に出場し、1等になりましたが、との様は身分の低いスーホを見るなり、約束のほうびを与えるどころか白馬をとりあげてしまいました。

### せかいいちおいしいスープ

あるむかしぼなし

マーシャ・ブラウン文・絵

こみやゆう訳

岩波書店 2010

外国のえほんーセ

(出版社/訳者違い 書庫にあり)



国へ帰る途中、お腹をすかせた3人の兵隊は、食べものにありつきたいと、近くの村へ向かいました。村人たちが食べものを隠して出さずにいると、兵隊たちは、「石のスープ」とやらを作りはじめました。

### ロバのシルベスターとまほうの小石

新版

ウィリアム・スタイグさく

せたていじやく

評論社 2006.2(1975.10)

外国のえほんーロ

(書庫にもあり)



ロバのシルベスターの楽しみは、かわった形や色の小石を集めること。ある日、願いをかなえるまほうの小石を見つけて、願いごとを考えていると、目の前にライオンが！あわてて「岩になりたい」と言ってしまいました。

絵  
本

★( )内の数字は、初版年月です。



### 大どろぼうホットェンフロッツ 改訂

オトフリート=プロイスラー作  
中村浩三訳  
偕成社 1990(1966.6)

J943-フロ

(書庫にもあり・文庫版あり)

おばあさんの大事なコーヒーひきを盗まれて、少年カスパールとゼツペルは、大どろぼうホットェンフロッツをつかまえる決心をしました。ねじろを見つけるための作戦を見ぬかれて、逆につかまってしまいました。

### 火曜日のごちそうはヒキガエル

(ヒキガエルとんだ大冒険 1)

ラッセル・E.エリクソン作  
ローレンス・ディ・フィオリ絵  
佐藤涼子訳  
評論社 2008.2(1982.3)



J933-エリ

ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。料理好きのモートンが作ったお菓子をおばさんに届けようと、ウォートンは雪の中を出かけて行きました。ところが、おそろしいミズクにつかまってしまい…。シリーズ1作目。



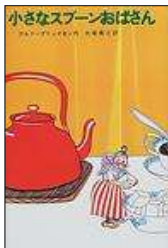
### がんばれヘンリーくん 改訂新版

ベバライ・クリアラー作  
ルイス・ダーリング絵 松岡享子訳  
学研 2007.6(1968.12)

J933-クリ

(書庫にもあり)

拾った犬を苦勞してバスに乗せて帰る話、ペットショップでグッピーを買ったら恐ろしいほど増えてしまった話、弁償するお金をかせぐため、ミズを大量に集める話など、ヘンリーくんのゆかいな日常を描いています。



### 小さなスプーンおばさん

アルフ・プリヨイセン著  
大塚勇三訳  
学研 1978

J949-フリ

(書庫にもあり)

ある朝目をさますと、おばさんはティースプーンくらいに小さくなっていました。その日から、突然小さくなったり、元にもどったりのくりかえし。それでもおばさんは、少しもあわてず、頭をつかって困難をきりぬけます。

### ちびっこカムのぼうけん

神沢利子作  
山田三郎絵  
理論社 1984



J913-カン

(文庫版あり)

病気のかあさんと暮らす男の子カムは、どんな病気でもなおすというイチノクサをとり、大男ガムリイのいる山へ登って行きました。兄弟のようなトナカイのプルガや森の動物たちに助けられ、ガムリイと対決します。



### びりっかの神さま

岡田淳作・絵  
偕成社 1988.11

J913-オカ

(書庫にもあり)

転校生の始は、4年1組の教室で、くたびれた背広をきた小さな男が、翼をはばたかせて飛んでいくのを見ました。テストでビリになった子のところへやってくるのがわかり、始はわざと0点をとって呼び寄せます。



### くまのパティントン

マイケル・ボンド作  
ペギー・フォートナム画  
松岡享子訳  
福音館書店 1980(1967.10)

J933-ボン

(書庫にもあり)

遠いペルーからやってきて、駅で途方にくれていたくまをブラウンさん一家は面倒をみることにしました。駅の名をとり、パティントンと名づけられたくまは、好奇心いっぱい。いろいろなさわぎをひきおこします。

### こぎつねルーファスのぼうけん

アリソン・アトリー作  
石井桃子訳  
岩波書店 1991.11(1979.3)



J933-アト

(書庫にもあり)

みなしごのルーファスは、かわいそうに思ったアナグマのおくさんに拾われて、アナグマ一家と暮らすことになりました。わるいおじさんギツネのじゃまをして危険な目にあったり、不思議な体験をしたりします。



### 子ブタシープピッグ

ディック・キング=スミス作  
メアリー・レイナー絵 木原悦子訳  
評論社 1991.11

J933-キン

ホギットさんがくじで当てた子ブタのベイブは、かしこいブタでした。農園で羊の世話をするシープドッグ(牧羊犬)のフライとその子どもたちの姿を見て、自分もシープピッグになりたいと思い、挑戦することになりました。



### ぼくは王さま

(理論社名作の愛蔵版)  
寺村輝夫作 和田誠絵  
理論社 1986(1961)

J913-テラ

(書庫にもあり)

たまごやきが大好きな王様は、王子がうまれたお祝いに、国じゅうの人たちにたまごやきをごちそうすることにしました。でも、そんなにたくさんのたまごはありません。王様は、ぞうのたまごを見つけるよう命令しました。

### 魔女がいっぱい

ロアルド・ダール作  
清水達也、鶴見敏訳  
評論社 1987.4



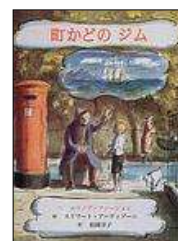
J933-ダル

(3Fティーンズコーナーに別シリーズあり)

夏休み、おばあちゃんとともにいたホテルで、ぼくは隠れてハツカネズミに芸を教えていた。そこは、英国児童愛護協会の集会場所になっていたが、実は魔女たちの集会で、ぼくは見つかって、ネズミにさされてしまった。

### 町かどのジム

エリノア・ファージョン文  
エドワード・アーディゾーニ絵  
松岡享子訳  
童話館出版 2001.10(1965)



J933-ファ

(書庫にもあり)

ジムは、町かどのポストのそばにあるミカン箱に、いつもすわっていました。船乗りだったジムは、世界中で体験したわくわくする話をこどもたちに聞かせてくれました。少年デリーに語った10のお話がいっています。

読  
み  
物

読  
み  
物